

事業所名 放課後等デイサービス りんくす幸袋

支援プログラム

作成日

R7

年

3

月

1

日

法人（事業所）理念		地域全体に児童福祉サービスが平等に行き渡る世の中を作り利用者ファーストを常に掲げ、あらゆる福祉サービスを通じ社会に常に必要とされる企業であり続ける。					
支援方針		5領域を網羅した視点から専門的セラピストを通じアセスメントを実施、科学的な根拠に基づき一人一人に合った支援を行い小集団、個別、集団とあらゆる環境に慣れていけるように活動の計画を実施します。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	日常に必要な基本的ルーティーンを支援いたします。睡眠、食事、排泄等の生活習慣規則を支援し、挨拶を含む社会に必要なモラルマナーやADLの自立を目指し、買い物支援や乗り物支援取り入れ、金銭管理と公共交通機関の使い方も体験し生きていく為に必要な生活基盤に繋がる支援を行っていく。					
	運動・感覚	作業療法士による療育を行い、感覚や感性の療育を行う、安全管理を徹底した上でマット運動や鉄棒の療育を行い利用者の知覚や感覚の能力を養う。個別にて一人一人にあった運動療法を行い自身の持つ平行感覚、バランス感覚を意識しながら訓練を行う。微細運動も取り入れお箸の訓練や手先の療育等日常生活に必要なスキルを身に付けていけるように支援をする。					
	認知・行動	音読等の文の読みはもちろん、書く事や見る事、聞く事の基本トレーニングを実施し、視認のや注意力の向上を意識し療育を行います。また個別に応じたアセスメントを行い体感や空間認識の能力も向上する支援プログラムを実施致します。日々学校等での学習面や長時間の座学にも対応できるように支援を行っていく。					
	言語コミュニケーション	言語聴覚士による言語訓練を行い、発語、語彙力等の「言葉」のあらゆる課題を克服できるような訓練を行ってまいります。伝える力や説明できる能力を育み日常での場面に応じたコミュニケーション能力を身に付け、お話をする楽しさを伝えていながら意思表示や困り事を人に伝えられる様なスキルが身につくように支援をしていきます。					
	人間関係社会性	集団行動での遊びの中でルールを通じ、人との関わり方や接し方を身に付ける、自分に不利な場面であってもルールやモラル、マナーを優先し人間関係・社会性を構築できるスキルを全員で学んで行ける環境をご提供します。相手の気持ちや伝え方を考えていき今後社会に出ても円滑な人間関係が築けるよ支援をしていきます。					
家族支援		可能な限り家庭環境や児童の日頃のライフスタイルを把握する為送迎時に時間を取り問題の共有を行って行く。必要に応じて家庭訪問や家でも行える療育をご提案する。		移行支援		様々な地域資源の活用のご提案や支援に関する必要な情報提供又は日々の活動の結果報告と円滑に共有を行っています。	
地域支援・地域連携		公民館や自治会等との協力によるイベントを実施 地域のお祭りなどに参加 学校や地元の福祉事業所との連携		職員の質の向上		定期的な社内研修を行っている 必要に応じて外部研修に出向きスキルアップを図っている 公休以外での特別休暇措置（働きやすい環境作り）	
主な行事等		外出支援実績：水族館、動物園、レジャー施設等の平均月一回の野外活動が有り 行事：季節事の行事あり（ひな祭り、お花見、夏祭り、クリスマス会等々） ※今後は保護者の方も参加できる行事を検討中					